

# 南高魂

令和 元 年10月3日発行  
北海道旭川南高等学校  
学校だより 第 3 号

## 挨拶は姿勢が大事

校長 田 苗 隆 男

月日の流れは早いもので学校の暦も年間の半分を終えようとしています。高校を卒業し40年ぶりに地元、旭川に戻りましたが街が大きな成長を遂げていたことと、同時に本校生徒の変貌にも驚かされました。中でも一番は「挨拶」ができるということです。

私は卒業後、日本体育大学に進みました。目標はバスケットで日本一になることです。技術、戦術等を学ぶために進学しましたが教えられたことは「挨拶の重要性」でした。来る日も来る日も「挨拶」ばかりさせられた記憶しかありません。同級生同士はもとより先輩の姿が見えたら距離は関係なく挨拶、時には前を歩いている先輩を追い抜いて回り込んで挨拶するなどあたりまえです。挨拶する際、相手の正面に立ち静止することが鉄則です。先輩たちは「今、わからなくとも将来役に立つ」と口癖のように言いますがその将来とやらはいつ来るのか検討もつかない学生生活を過ごしました。

本来の挨拶とは言葉のやりとりではなくその姿勢が問われます。立ち止まり、目を合わせて「おはようございます」「こんにちは」と心を込める。それだけで相手に好印象を与えることは間違いありません。このような作法が身につけている本校生徒の多さに驚かされたと同時に学校で指導する以上に家庭での躾がしっかりと身につけている生徒なのだと感心したものです。特に週の始めや一日の始めにこのような挨拶をしてくれる生徒に合えると「今日も一日頑張ろう」といううれしい気持ちになるものです。

先日、進路説明で訪れた方から次のような話をされました。「生徒さんの挨拶は素晴らしいですね」。また、こんなことも「学校に入った時に、落ち着きと勢いを感じました」ともおっしゃっていました。褒められることに越したことはありませんが、生徒に対する最大の賛辞を頂いたものと受け取りました。このことは特に都市型進学型総合学科となった10年間の取り組みが浸透してきたことに他なりません。最近では数々の進学、就職先から「南高校の生徒は是非」と望まれている環境は整いつつあります。

本物の挨拶ができる生徒が身近にいるということは本校のストロングポイントでもあります。生徒の皆さんにはそれらの利点を活かし自己実現に向けた更なる努力を期待しております。

## 2年次課題研究ポスター発表会

9月19日、2年次生による課題研究のポスター発表会が実施されました。課題研究は総合的な学習の時間に各自設定したテーマに沿って、春から研究に取り組んできました。「疑問・仮説」をたてて、その仮説を立証するための道筋を考え、文献調査・データ収集、情報収集、実験等を行ってきました。その研究の中間発表的な発表の場としてポスター発表会です。本校では初めて開催した行事でしたが、それぞれの生徒が生き生きと発表する姿は、課題研究の目的の一つである表現する力の高める機会になったと思います。また発表会に参加していただいた、1年次の生徒たち、保護者の方、地域の方、大学の先生の意見を元に、今後ポスター発表で見てきた課題を解決して、研究のまとめの作業、ゼミ発表等に取り組んでいきます。



## 「先輩に聞く」～「産業社会と人間」の取組から～

1年次「産業社会と人間」の授業内にて、「先輩に聞く」を8月20日（火）に実施されました。今年度は、総合学科3期生の千葉静香さん（旭川医療センター看護部勤務）、小野寺彩夏さん（大町のぞみこども園勤務）、6期生の長谷川颯さん（成蹊大学法学部在学）、7期生の森川穂乃花さん（東海大学体育学部在学）、紙谷祐輝さん（日本大学商学部在学）の5名が来校し、熱いメッセージを寄せてくれました。先輩方は、自己紹介の後に現在の仕事内容、高校時代に努力したこと、大学での勉強内容、進路を決めるにあたってのアドバイスなどを時間いっぱい熱く語ってくれました。身近な存在である卒業生の話ということもあり、生徒達は真剣に耳を傾け今後の進路目標の具体化につながる有意義なものとしていました。



## 「マイナビ進路のミカタLive」

9月18日（水）に大雪アリーナで開催された「マイナビ進路のミカタLive」に、1年次が参加しました。会場には国公立大学や私立大学、専門学校の「学校個別相談コーナー」と大学や企業、福祉施設や消防などが開催している「体験型コーナー」、「資料コーナー」に分かれ約80ものブースが設置されていました。生徒は事前学習を通して、自分の興味のあるキーワードや学校、企業を選び、当日のスケジュールや質問事項を考えた上で当日参加しました。10:30から約2時間、生徒たちは、大学の相談コーナーで話を聞いたり、体験コーナーで福祉やものづくり、健康や医療の体験をしていました。本校では1年次「産業社会と人間」の『ライフプランI』という学習の一つに、このイベント学習を位置づけています。【自分】と現在取り組んでいる【学び】、そしてこれから変化していく【社会】とのつながりを深く考える学習の意味をこの体験によって確認することができたのではないかと思います。



## 岩田彩夢さん(3年 水泳100・200m背泳ぎ)インターハイ3年連続出場

3年生の岩田彩夢さんが、3年連続でインターハイに出場しました。結果は残念ながら予選敗退でしたが、本人は3回目にして一番達成感を得ることかできた大会だったと振り返っています。本校には水泳部がなく、他の部活動のように南高校の仲間と励まし合い努力することができませんでした。そのような孤独な環境でも、インターハイに出場を果たせたことは、3年間の継続してきた努力のたまものです。

# 夏季休業インターンシップ

本校の夏のインターンシップは多岐にわたって行なっています。公務員志望の2年生の市役所や町役場での実習、将来の希望職種に合わせて行われた「ふれあい看護体験」「一日看護体験」「保育・介護体験」、引退された校長先生たちによる「高校生のための学校教師未来塾」です。約50名近く参加し、大変貴重な体験をすることができました。将来への職業希望の重要な経験値として、また志望進学実現への大きな原動力となったことと思います。市役所などの実際の作業、患者様、幼児・園児、ワンデイサービスにいらしていたご年配の方々とのコミュニケーションやふれあい、そして、対応していただいたそれぞれの職員の方々の一つ一つの言葉に、その深さや重要性を感じることができたことと思います。夢の実現に向けて、積極的に参加した生徒皆さん、大変お疲れ様でした。

## 保育体験に参加して

3年4組 木下華奈

3日間の保育体験を通して改め「保育士という職業に就きたい!」と思った。昨年も参加したが、以前とは違った感覚で子供たちと関われとても楽しい時間を過ごすとともに、素晴らしい経験をさせていただきました。3日間の短い時間では、子供たちと信頼関係を築くのは難しいと思う部分もありましたが、これからの将来を考えると、この経験は人より一歩先の経験ができたと思います。夢である保育士になるために、大変ではありますがしっかりと勉強しようと決意を新たにしました。今回の経験を将来に生かせるよう努力していこうと思います。

## 南高生ハツラツ

### 強歩遠足

今年度で第39回となる南高恒例の強歩遠足を9月20日（金）に行いました。強歩遠足は、身体を鍛えることや、粘りを養うこと、苦しい中でも思いやりを持つことなどをねらいとする南高の伝統行事で、多くの先輩たちも「辛いけど、忘れられない思い出」の一つにあげています。今年は時より激しい雨が降るあいにくの天気でしたが、何とか22kmを元気に歩くことができました。学校を出発して美瑛川の河川敷サイクリングコースを進み、旭川大橋で折り返して忠別川の河川敷のサイクリングコースを歩くという恒例のコースを、決められたチェックポイントを通過しゴールをめざします。22kmという長い道のりを、一目散にゴールを目指す生徒あり、ゆっくりと休憩をとってお弁当を食べマイペースで歩く生徒あり、それぞれ思い思いに楽しんでいました。一部チェックポイントを通過できなかった生徒もおりましたが、参加者はほぼ全員無事ゴールすることができました。生徒と一緒に歩いていただいたり、関門等でお手伝いいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## 中学生一日体験入学

今年度の中学生一日体験入学を、9月7日・21日の2回実施いたしました。1回目は生徒303名、保護者130名。2回目が生徒262名、保護者120名という多くの方々の参加をいただきありがとうございます。

体育館で全体会を実施し、担当教員から総合学科である南高校の特色・入学選抜について等の説明、放送局員が作成した映像で南高校の学校生活を紹介、さらに昨年の総合学科研究発表会の昨年度の本校代表である柳本信鷹君の発表が行われました（1回目は映像。2回目は柳本君本人の発表）。その後、担当教員が校舎案内を行い体験授業の場所に移動し、本校の特色となる韓国語や看護など全16講座に参加しました。その間、保護者の方々は体育館で「現在の大学入試の特徴」というテーマで代々木ゼミナールの松尾和浩氏が最新の大学入試状況についての講演に参加していただきました。旭川南高校が地域に信頼される学校となるため、一日体験入学のみならず様々なかたちで学校情報を発信していきたいと考えております。



## 南高生を見守り続けて

近年、本校に隣接する神楽岡通り緑ヶ丘東3条2の交差点は交通量が増加し、小中高生の安全確保の必要性が増す状況でした。そのような要請に応えるかたちで、桑原徳明さんは毎朝、午前7時30分から児童生徒の安全の見守り・交通安全指導に取り組んでこられました。長きにわたる本校生の安全登校を指導してきたボランティア活動に、本校生徒・教職員の感謝の気持ちを込め、学校を代表して田苗隆男校長より感謝状を贈呈いたしました。



あらためて、長年にわたる見守り活動に感謝する次第です。

## 中学生・保護者対象の学校説明会開催のお知らせ

中学生・保護者の皆様対象とした学校説明会を下記の日程で実施します。本校への進学を希望されている生徒・保護者の方々にはもちろん、「総合学科はどんな学科なのだろう?」そのような素朴な疑問をもたれている中学生・保護者の方も大歓迎です。旭川南高校に関心のある方は、是非一度本校にお足をお運びいただければ幸いです。

日時 令和元年10月26日（土） 10:00～11:15  
会場 北海道旭川南高等学校 4階講堂（予定）  
内容 「学校紹介」「総合学科とは」「卒業後の進路」などについてご説明いたします。